

# Glocal Tenri



7

月刊 グローカル天理 Monthly Bulletin Vol.25 No.7 July 2024

天理大学 おやさと研究所 Oyasato Institute for the Study of Religion, Tenri University

## CONTENTS

- ・ 巻頭言  
見たまま、聴いたまま  
／井上 昭洋 ..... 1
- ・ 天理教の異文化伝道と「文化」の「翻訳」  
(12)  
ヨーロッパにおける天理教の伝道の諸相①  
／加藤 匡人 ..... 2
- ・ 台湾の社会と文化—天理教伝道史と災害民族誌 (20)  
漢人の民間信仰と天理教  
／山西 弘朗 ..... 3
- ・ 社会福祉からみる現代社会—天理教の社会福祉活動に向けて— (15)  
不登校支援における天理教の社会福祉活動 (1)  
／深谷 弘和 ..... 4
- ・ ライシテと天理教のフランス布教 (36)  
21世紀のライシテと天理教のフランス布教⑥  
／藤原 理人 ..... 5
- ・ イスラームから見た世界 (29)  
イスラーム神学者の仕事①  
／澤井 真 ..... 6
- ・ コロンビアへの扉—ラテンアメリカの価値観と教えの伝播— (34)  
7. コロンビアの非日常2 その2 「おちばがえり：実家への里帰り」  
／清水 直太郎 ..... 7
- ・ おやさと研究所ニュース ..... 8  
第366回研究報告会 (4月15日) /  
第367回研究報告会 (5月31日) /  
2024年度公開教学講座のご案内

## 巻頭言

### 見たまま、聴いたまま

おやさと研究所長 井上昭洋 Akihiro Inoue

前号では、話をしっかり聴いているよ  
うで大事なことが聞き取れていないことが  
あることを私のインタビュー調査の経験か  
ら紹介した。ある年配のハワイ人キリス  
ト教徒は、アウマクア (祖先神) につい  
ての知識や体験を持っているけれども、アウ  
マクアという単語を口に出すのを憚るほどに  
伝統宗教から距離を置きたがっていた。私  
は彼女のそのような伝統宗教に対する屈折  
した感情を調査の段階で聞き逃していたの  
だ。聞き逃していたことはそれだけではな  
かった。まずは、前号で紹介した彼女のこ  
めんとの一部を再掲する。

私の場合、母親の家系はアーヌエヌエ  
(虹) で、父親の家系はナイア (イルカ)  
とマノー (サメ) だった。私の夫もマ  
ノーとナイア、その系統だったの。

このコメントから分かるのは、アウマク  
アの継承には父系と母系があり、その種類  
には虹、イルカ、サメがあるということだ。  
一見したところ、それ以上の情報はこのこ  
めんとから引き出せないように見える。

次に、中堅の男性ハワイ人牧師のアウマ  
クアについての話を紹介したい。

私は、アウマクアは守護天使のような  
ものと見なしている。私の家族のアウ  
マクアはマノー (サメ) だ。プエオ (フ  
クロウ) が家族のもう一つの系統の、  
父方のアウマクアだ。そして、私はこ  
れらのアウマクアを守護天使と見なす  
ように育てられてきた。つまり、聖典  
に書かれているように、神は、空の鳥を、  
海の魚を私たちへの使者として再利用  
されたのだ。

彼のコメントで読む者の注意を引き付け  
るのは、ハワイ人キリスト教徒によるアウ  
マクアの再解釈である。キリスト教とハ  
ワイの伝統文化との間のコンフリクトを  
回避すべく、どのような解釈がなされ得  
るのかを

彼の語りに見出すことができる。それこ  
そが私の探していた物語であったので、私  
は彼の回答に満足してしまったのだ。

大量のインタビュー・データの中に埋も  
れた状態では、これらのコメントからアウ  
マクアの種類とそれには父系・母系の継承  
があることが分かれば、それで充分と思っ  
てしまうかもしれない。しかし、この2つ  
のコメントには他にも重要な共通点があ  
る。私がその重要な共通点に気がついた  
のは論文を書き終えてからである。しま  
った! と思い、他のインタビュー・デー  
タにあたったところ、もう1つ同種のこ  
めんとを発見して、天を仰いだのだ。調  
査中にそのことに気づいていれば、調  
査の途中からでも注意を払いながらイン  
タビューをすることができたはずなのだ。

2人のコメントに見るその重要な共通  
点とは、どちらも母系のアウマクアから  
説明を始めているという点である。特に  
、男性牧師は母方のアウマクアを無意  
識のうちに「家族」のアウマクアとして  
紹介し、もう一方のアウマクアを紹介  
する時に初めて系統について言及し、  
父方のアウマクアとして紹介している。  
“無標”のアウマクアの系統は母系な  
のである。すなわち、ただ単に (系  
統に拘らずに) 家族のアウマクアにつ  
いて紹介している時、それはおそらく母  
方のアウマクアである可能性が高いとい  
うことだ。

双系的継承だが母系が優先されるとい  
うこの事実は、複数のデータを照らし合  
わせて初めて判明することのように思  
われる。だが、女性信徒のコメントを  
愚直に読んで、どんな当たり前のこ  
とにも注意を払って行けば、アウマ  
クアには幾つかの種類があること、ア  
ウマクアの継承には父系と母系があ  
ることに加えて、継承の説明は母系  
からなされているという情報を引き  
出すことができたはずだ。話をよく  
聴くというのは、そういうことであ  
る。参与観察であれ、インタビュー  
であれ、見たまま聴いたままにど  
れだけ注意を払うことができるのか  
が、大切になってくる。